



# セゾン投信 月次運用レポート

## 長期投資家の皆様へ

6月後半は英国のEU離脱決定が世界の株式市場を一時的に同時株安へと導き、けっこうな大騒ぎになりましたが、それから半月余りで、市場全体に元の価格水準へとV字回復。

なぜこれほどあっさりトリバウンドしたかと言えば、英国が実際にEUを脱退するのに最低でも2年以上を要する上に、それを選択したはずの英国側で離脱交渉を引き延ばす意志がはっきりしてきていることから、しばらく実体経済への現実的影響は生じないことをマーケットが織り込んだからです。つまり相場急落は短期投機筋の見事な瞬間狼狽だったわけで、日々の値動きとは所詮こうした瞬発的反応に大きく左右されるものです。

そんな中で、先月の米雇用統計で米国経済の堅調ぶりが確認されてからは、グローバルに上昇基調が定着して、米国株式は史上最高値圏をクリアしています。米国経済は雇用・消費・住宅と順調に回復・拡大トレンドが維持されていて、この循環に労働者の賃金上昇もリンクし始め、企業業績も世界で最も安定していると言えるでしょう。アベノミクスの効果減退で停滞基調の日本や、大陸欧州と英国の対立が生じて不確実性が高まっている欧州に対し、米国が圧倒的に世界経済を支える役割を担っています。

さて日本では、7月末に日銀が発表した追加緩和は政策を小出しにとどめた一方で、政府の財政投入による景気対策は大規模な実施が確実視され、これから年後半にかけて、日本と欧州でマイナス金利を含め、更なる金融緩和政策の積み上げ実行と、財政刺激策が両輪で動き始めるとすれば、市場環境の風向きは追い風が変わって来て、私たち長期投資家にとっては、今年前半に安値圏でずっと続けて来た仕込みが成果を見せる局面への転換を期待出来る、これからになるかもしれません。のんびり待ちつつ進んで参りましょう。

中野 晴啓

## ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間 9:00～17:00 土日祝日、年末年始除く）

# セゾン資産形成の達人ファンド

## 7月の市場動向

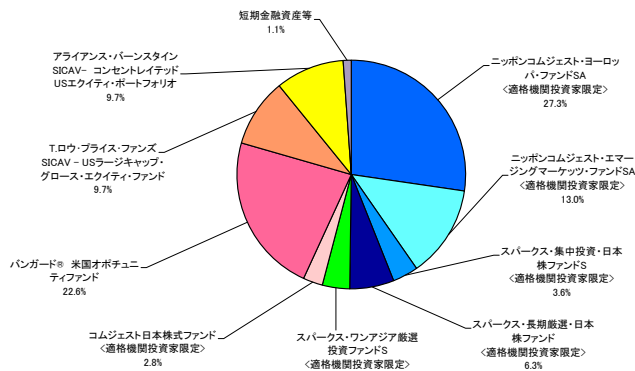
**株式：**【イギリスの欧州連合（EU）離脱を巡る混乱への警戒が和らいだほか、米国経済の先行きに対する明るい見方が広がりに上昇】  
金融緩和の長期化観測が高まるなかで、イギリスで早期に新しい首相が選出され、イギリスと欧州連合（EU）の協議進展への期待が高まったほか、米国で良好な経済指標の発表が続き、景気の先行きへの明るい見方が広がったことを受けて上昇しました。

**為替：**【ドルとユーロは結果的には小幅な変動。円は月末に開催された日本銀行の金融政策決定会合後に上昇して対ドル、対ユーロで円高】  
米国経済の先行きに対する明るい見方が広がると共に、欧州でも先行きに対する不透明感が和らぎ、ドルとユーロは方向感の無い展開となりました。円は途中まで金融緩和観測が高まって下落したものの、大規模な緩和措置が見送られたことを受けて反発に転じました。

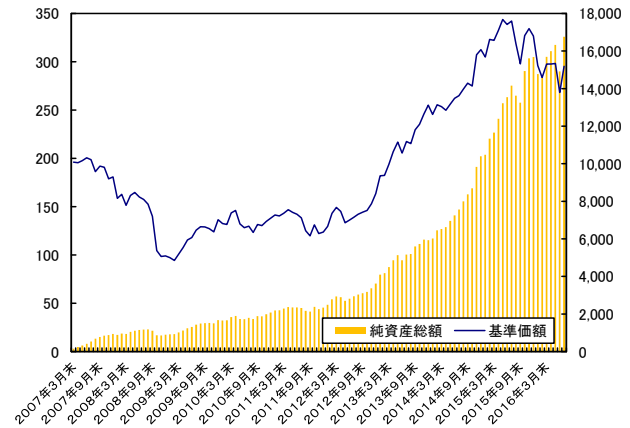
基準価額と純資産総額及び騰落率（2016年7月29日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
15,187円	325.8億円	+51.87%	+10.08%	-0.26%	-13.72%

資産配分状況（2016年7月29日現在）



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



## 7月の運用状況

### 今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランでのご購入などにより、皆さまからお預かりした資金を利用して、コムジエストヨーロッパファンド、バンガード米国オポチュニティファンド、コムジエストエマーゼンシングマーケットファンド、T.ロウ・プライス米国大型グロースファンド、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、コムジエスト日本株式ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月から低下し、月末時点で1.1%となっております。

### ファンドマネジャーからの一言

経済のグローバル化は経済成長を促すとされていますが、グローバル化の進展により産業構造などが変化することで、一国のなかでも利益を得る人と不利益を被る人が出てきます。それでも、国全体でグローバル化による利益が不利益を上回るのであれば、政府が利益を再配分することにより、全ての人に利益をもたらすことも論理的には可能です。

しかしながら、実際には多くの政府は利益の再配分にはあまり積極的ではなく、格差が拡大していることから、不利益を被っていると感じている人の間で、イギリスの国民投票や米国の大統領選挙で見られるような反グローバル化の動きが高まっています。このような動きは、経済に対して様々な影響を与え、先行きを一層不透明なものにしていますが、どのような状況においても、自らの強みを活かせる分野に集中して、投資を継続することが重要であると考えております。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な市場の動向ではなく投資対象の価値を重視して株式投資を継続することで、リスクを抑えながら皆様の長期的な資産形成のお役に立てるように努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

## 基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

## 当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5832%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

### セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く）



セゾン投信